

## 今昔

現在の中川区岩塚町字神明西川添、中川区富田町大字万場付近

## 街道の橋に代わる重要な交通手段川船渡



※現在地の住所と現況写真の撮影地は、資料に基づき推定したものです。  
※左の絵は原本を一部加工、着色しています。

この絵は、尾張名所図会に描かれている江戸時代の佐屋街道の万場川船渡の様子です。

佐屋街道は、熱田から、岩塚、万場を通り神守、佐屋を経て桑名に至るもので、東海道の宮から桑名までの七里の渡しが天候不順や船酔いする人たちのために開かれ、東海道の脇街道として盛んに利用されていました。

この渡しは、佐屋街道の岩塚宿と万場宿の間を流れる庄内川を渡すもので、湯水の時期にも歩いて渡ることは許されていませんでした。

絵図にあるように川船には多くの人、荷物や馬も乗せることができ、昼夜を分かたず渡船することができ多くの人が利用していたものと思われます。

また、川の両岸に設けられた岩塚宿と万場宿は、庄内川をはさんで隣接しており、月の上旬は万場宿が、下旬は岩塚宿が人馬継立や休泊の役を務め二つで1宿としての役割を勤め、万場の渡しについては、万場宿が管理するものとされていました。

明治時代になり、熱田～前ヶ須(現在の弥富)への新道が整備されたことにより佐屋街道は、使命を終えました。

渡しの位置は、現在の万場大橋の南にあり、渡しの痕跡として跡碑、常夜灯が残っています。



庄内川堤防から岩塚宿方向を望む



万場宿



万場の渡しの常夜灯

◆関連資料 \* ( ) 内はまちづくりライブラリーの請求記号です

「尾張名所図会前編七」 岡田啓 / 編愛知県郷土資料刊行会 (Sc-ア)

「新修名古屋市史第4巻」 新修名古屋市史編集委員会 / 編 (Sc-ナ)

「中川区史」 中川区制施行50周年記念編集委員会 / 編 (2B21-87)

中川区制施行50周年記念事業実行委員会

「中川区の歴史」 山田寂雀著 (SC-ア)

「富田のあゆみ」 富田のあゆみ編集委員会 / 編 (2B21-85)

富田地区名古屋市合併三十周年記念事業実行委員会 / 発行

「佐屋路 歴史散歩」 日下英之著 (SC-ヒ)